

ひとりメモ — スマホ導入版 取扱説明書

ホーム画面のアイコンから、圏外でも開くメモ帳にする

バージョン 1.0.0 / 2026-08-23 発行 / index.html + sw.js + manifest.webmanifest + icon.png の4ファイル

この説明書は、スマホのホーム画面にアイコンを置いて使えるようにするための手順書です。置き場所として GitHub Pages（無料）を使います。第1章から順に進めれば、30分ほどで終わります。

アプリの操作そのものは PC版と同じです。第7章に要点をまとめてあります。

目次

- | | | | |
|---|------------------|----|--------------|
| 1 | 2つの版のちがい | 7 | 使いかたの要点 |
| 2 | なぜ置き場所が要るのか | 8 | バックアップ（重要） |
| 3 | ファイルの中身 | 9 | 新しい版に入れ替える |
| 4 | GitHub Pages に置く | 10 | こまったとき |
| 5 | ホーム画面に追加する | 11 | できること・できないこと |
| 6 | 圏外で使う | | |

1 2つの版のちがい

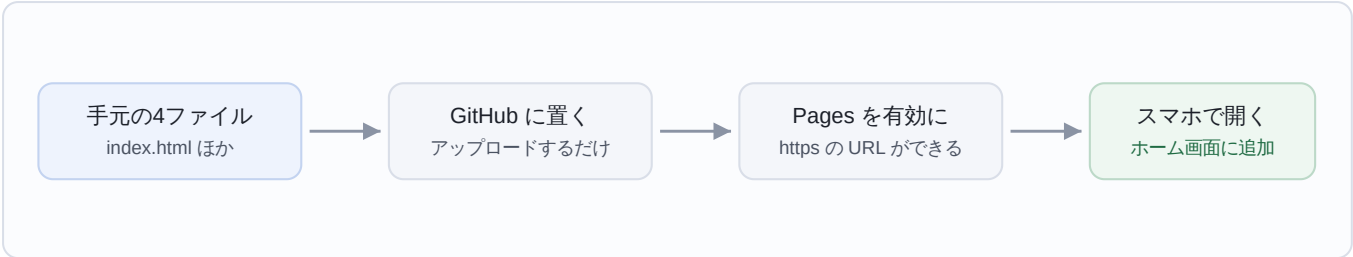
	PC版	スマホ導入版
ファイル	HTML 1つ	4つ（index.html / sw.js / manifest.webmanifest / icon.png）
開きかた	ファイルをダブルクリック	ホーム画面のアイコン、またはURL
置き場所	手元のフォルダ	インターネット上（https）
ホーム画面追加	できません	できます
圏外	もともと通信しないので平気	1回開いたあとは平気
中身の機能	同じです	

2つの版のメモは、別々に保存されます

PC版とスマホ導入版は保存場所が違うため、**同じメモは共有されません**。どちらかを本番と決めて使い、行き来したいときは第8章のJSON書き出し／読み込みを使ってください。

2 なぜ置き場所が要るのか

スマホの「ホーム画面に追加」は、ファイルを直接開いた状態（`file://`）では使えません。**httpsで配信されているページであることが条件**だからです。そこで、無料で https 配信ができる GitHub Pages に4つのファイルを置きます。



GitHub Pages は既定で誰でも見られるURLになります。ただし公開されるのはアプリの入れ物だけで、書いたメモは端末から出ません。メモがサーバーへ送られることはありません。

3 ファイルの中身

ファイル	役割	更新のとき
index.html	アプリ本体。画面も処理も全部この中に入っています。バージョン番号もここに1か所だけ書いてあります	これだけ差し替えます
sw.js	圏外でも開けるようにする係。バージョンは持たず、index.html から受け取ります	触りません
manifest.webmanifest	アプリ名・アイコン・全画面表示などの設定	触りません
icon.png	ホーム画面に出るアイコン	触りません

更新のときに手で触るファイルは1つだけです

バージョンを2か所を書く作りになると、いつか片方が古くなって「更新したのに反映されない」が起きます。この4ファイルは、**index.htmlを置き換えるだけで更新が届く**ようにしてあります。

4 GitHub Pages に置く

GitHub のアカウントを持っていない場合は、先に `github.com` で無料登録してください（メールアドレスとパスワードだけです）。

1 リポジトリを作る

GitHub にログインし、右上の

+

→ 「New repository」を選びます。

- Repository name … `hitorimemo`（好きな名前で構いません）
- Public を選ぶ（Private だと Pages が使えない場合があります）
- 「Add a README file」にチェックを入れる

最後に「Create repository」を押します。

2 4つのファイルをアップロードする

できたページで「Add file」→「Upload files」を選び、

`index.html` `sw.js` `manifest.webmanifest` `icon.png`

の4つをまとめてドラッグします。下の「Commit changes」を押せば完了です。

※ フォルダに入れず、4つとも同じ階層に置いてください。

3 Pages を有効にする

上のタブの「Settings」→左メニューの「Pages」を開きます。

- Source …

Deploy from a branch

- Branch …

main

／ フォルダは

/ (root)

「Save」を押します。

4 URL を確認する

1〜2分待ってから Pages の画面を再読み込みすると、上のほうに URL が出ます。

`https:// (あなたのID) .github.io/hitorimemo/`

このURLを開いて、アプリが表示されれば成功です。

5 スマホでそのURLを開く

URLをメールやメッセージで自分に送るか、PCの画面にQRコードを出して読み取ります。

※ 次章の「ホーム画面に追加」は、iPhone なら Safari、Android なら Chrome で開いてから行ってください。

「404 There isn't a GitHub Pages site here.」と出るとき

反映まで数分かかることがあります。5分ほど待ってから再読み込みしてください。それでも出ないときは、①ファイル名が `index.html` になっているか、②4つが同じ階層にあるか、③Branch が main / root になっているか、を順に確認します。

5 ホーム画面に追加する

iPhone・iPad (Safari)



① Safari で URL を開き、画面下の共有ボタン（□に↑）を押す

② メニューを下にたどり、「ホーム画面に追加」を押す

③ ホーム画面にアイコンが出ます。ここから起動します

※ Safari 以外のブラウザ（Chrome for iOS など）には「ホーム画面に追加」がありません。必ず Safari で開いてください。

Android (Chrome)



追加されたか確かめる

ホーム画面のアイコンから起動し、メニュー（三本線）→ いちばん下の「バージョン」を見てください。
「ひとりメモ 1.0.0 (スマホ導入版) / ホーム画面から起動中」と出ていれば成功です。

6 圏外で使う

一度ホーム画面から起動すれば、**そのあとは電波がなくても開けます**。アプリ本体を端末の中に取りってあるためです。圏外で書いたメモも、ふつうに保存されます。

- 導入した直後に、**一度だけオンラインで起動しておいてください**。そのときに本体を取り込みます
- 機内モードにして開けることを一度試しておくとう安心です
- 通信できるところで開いたときは、新しい版が出ていれば自動で取り込みます（第9章）

7 使いかたの要点

操作は PC 版と同じです。詳しくは「PC 版 取扱説明書」を見てください。ここではスマホでよく使うものだけ挙げます。

やりたいこと	操作
メモを残す	上の欄に書いて「残す」。改行しても勝手に投稿されません
写真を入れる	「画像」を押して写真を選ぶ。保存前に自動で小さくします
あとから足す	カード下の「コメント」
タグを貼る	本文を書いたあと、下のタグカードをタップ
タグで絞る	カードの中のタグをタップ
古いメモを畳む	年・月の見出しをタップ。既定は最新月だけ開いています
探す	上の検索欄。本文・コメント・タグ名を横断します
上に固定	カード右上のピン

アプリ内でカメラは開きません

写真はいつでもおりカメラアプリで撮り、「画像」から選んでください。アプリ自身がカメラを扱わないぶん、権限の確認も、動かない端末ありません。

8 バックアップ（重要）

メモはこの端末のこのブラウザの中にあります

ブラウザの閲覧データを消したり、機種変更したりすると**メモも消えます**。戻す手段はバックアップだけです。

書き出す：メニュー → 「JSONに書き出す」。スマホでは「ファイル」アプリのダウンロードフォルダなどに保存されます。そのままクラウドドライブへ入れておくと安心です。

読み込む：メニュー → 「追加で読み込む」 → ファイルを選ぶ。**いまのメモは消えず、読み込んだぶんが足されます**。機種変更のときも、新しい端末でURLを開いて読み込めば移せます。

月に一度など、頻度を決めて取ってください。**書き出した時点までしか戻せません**。

9 新しい版に入れ替える

1 index.html だけを差し替える

GitHub のリポジトリで「Add file」 → 「Upload files」から、新しい `index.html` を同じ場所にアップロードします。同名なので上書きになります。

sw.js などは触りません。

2 スマホで開き直す

ホーム画面のアイコンから起動すれば、通信できる状態なら自動で新しい版になります。

すぐ確かめたいときは、メニュー → 「最新の状態にする」を押してください。

3 バージョンを確認する

メニューのいちばん下に、いま動いている版が出ます。

更新してもメモは消えません

アプリ本体を入れ替えるだけで、保存されたメモには触れません。実際に版を上げて確かめてあります。
心配なら、更新の前に第8章の書き出しを一度しておいてください。

10 こまったとき

「ホーム画面に追加」が見つからない

- **iPhone**：Safari で開いていますか。Chrome や他のブラウザには、この項目がありません
- **Android**：メニューの表記が「アプリをインストール」「ホーム画面に追加」のどちらかです。出ない場合は、一度ページを再読み込みしてから開き直してください
- URL が `https://` で始まっているか確認してください。 `file://` では追加できません

アイコンから開いたのに、アドレスバーが出る

ブックマークとして追加された可能性があります。いったんアイコンを削除し、第5章の手順でやり直してください。

圏外で開けない

導入したあと、**オンラインで一度も起動していない**と、本体がまだ端末に取り込まれていません。電波のあるところで一度開いてください。

更新したのに古いままに見える

メニュー → 「最新の状態にする」を押してください。押したあと数秒で切り替わります。それでも変わらないときは、GitHub 側で index.html が本当に置き換わっているか（ファイルの更新日時）を確認してください。

画面の上に「いまは保存できていません」と出る

そのブラウザでは保存領域が使えていません。プライベートブラウズになっていないか、サイトデータをブロックする設定になっていないかを確認してください。この状態でもメモは書けますが、閉じると消えます。

すべて消したのに「使用量」が減らない

ブラウザは消したあとも領域をすぐ手放しません。異常ではありません。メニューの「いまのメモ：0 件」のほうが実際の中身です。

PC版とスマホ版で内容がずれた

2つは別々に保存されるため、両方で書くとずれていきます。**どちらかを本番と決めて**、もう一方へは書き出し／読み込みで移してください。

11 できること・できないこと

できること	できないこと（そう作っています）
ホーム画面のアイコンから全画面で起動 圏外での起動と書き込み メモ・コメント・画像・タグ・検索 年・月での折りたたみ JSONの書き出しと読み込み index.html の差し替えだけで更新	アカウント・ログイン 端末間の自動同期 共有・公開 通知 現在地の記録 アプリ内でのカメラ撮影 パスワードロック 広告・アクセス解析

確認できている範囲と、していない範囲

- 置き場所への配置・アイコンの追加・圏外での起動・版の更新は、いずれも自動テストで通しています
- 5年間の利用を再現した試験（起動383回・メモ680件）で、データの欠損・エラーはゼロでした
- 実機のiPhone / Androidでの検証はしていません。**画面の細かな見え方や、iOS Safari が長期的にデータをどれだけ保つかは未確認です
- だからこそ、**第8章のバックアップだけは習慣にしてください。**これが唯一の保険です